

社会的事象の意味を考え、表現することができる社会科指導の工夫 —複写シート「わけるくん」を活用した学び合い活動を通して—

特別研修員 社会科 青木加奈子（小学校教諭）

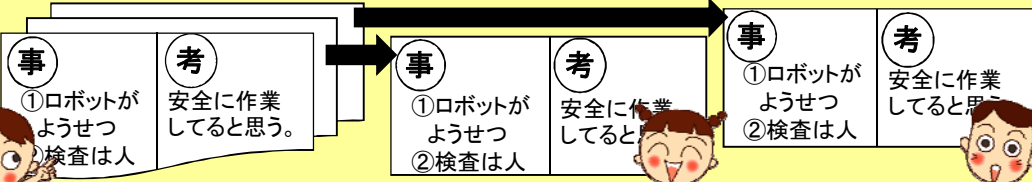
教師の願い

- ◎社会的事象の意味まで考えることができるようにしたい。
- ◎自分の考えを再構成し、根拠を明確化して表現できるようにしたい。

児童の実態

- 社会的事象の意味まで考えようとしらない。
- 根拠を明確にした考えを表現することに慣れていない。

複写シート「わけるくん」で考えの共有化をしよう！



1番上のシートに書く
と下のシートに複写され、
それを友達に渡せるので、
短時間で考えの共有化が
できます。

実践例：自動車をつくる工業（本時のめあて「組み立て工場のなぞをさぐる」）

手立て1：考えの共有化を図るための比較・関連付け

○資料の比較・関連付け

- ・資料から読み取った「事実」と、それを基にした「考え」を矢印で結ぶ。

事	①コンベヤーの上を流れる車体に流れ作業で部品を組みつけてる	考	人が車のところまでいくとおそくなるからだと思う。
事	②ようせつは、ロボット	考	火ばながとんで人がやると危険だから考えた。

○考えの共有化

- ・複写されたシートを各自のノートに貼り、互いの考えを共有する。

手立て2：考えの再構成

○キーワード化

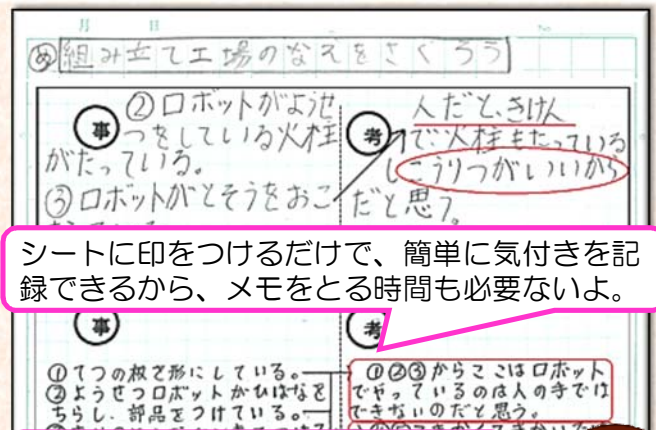
- ・グループで本時の学習のキーワードを考える。

○根拠を明確にした考えの再構成

自分の考え
組み立て工場では、危険で人ができないことはロボットがする。細かくてロボットができないことは人がする。このように機械と人が協力し、安全に正確に車を作っている。

- ・根拠を示しながら、自分の考えを再構成する。

複写シート「わけるくん」を活用した学び合い活動



シートに印をつけるだけで、簡単に気付きを記録できるから、メモをとる時間も必要ないよ。

友達がどの資料からどんなことを考えたか分かるから、集中して発表が聞けるよ。

機械やロボットは重たくて危険な作業をしているよ。人は組み立てや検査など細かい作業をしているよ。キーワードは、人と機械の協力だね。

キーワードを考えると、人々の工夫や努力の意味が分かってくるね。

変容した児童の姿

- ◎社会的事象の意味まで考え、根拠を明確にしながら自分の考えを再構成し表現することができた。

成果 (○) と課題 (△)

- 複写シート「わけるくん」を活用することにより、仕事の安全性や効率化、消費者のニーズに対応したいなどの思いを実現するために、人々は工夫や努力をしている事に気付くことができた。その結果、社会的事象の意味を考え、自分の言葉で表現することに結びついた。

△キーワードを考える活動を円滑にするためには、教師が視点を与えるなど、より具体的な支援が必要である。